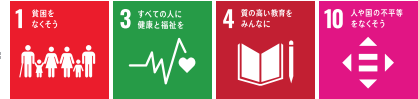


### 3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

#### (1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります



#### 健康診査事業 2億263万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

財源	国の負担額	16万円
	県の負担額	299万円
	利用者等の負担額	4,350万円
	市の負担額	1億5,598万円

#### 風しん予防対策事業 919万円

(担当：健康推進課健康推進係)

風しんのまん延を防止し、市民の安全安心な暮らしを確保するため、公的な予防接種の対象外であった方を対象に風しんの抗体検査と予防接種を無料で実施する予防対策事業を実施します。

財源	国の負担額	306万円
	市の負担額	613万円

#### 障害者地域生活支援事業

1億2,074万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

##### 訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障害者（児）の方に、訪問による入浴等の支援を行います。

##### 相談支援事業

障害者の方やその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

##### 自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障害者の方の社会参加を推進するため、自動車免許の取得費や自動車の改造費を助成します。

##### 移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者（児）の方に、外出する際の支援を行います。

##### 成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない障害者の方が、安心して日常生活を送ることができるよう、適切な擁護者を選び、本人を保護するための支援を行います。

##### コミュニケーション支援事業

言語による意思の疎通を図ることに支障がある障害者の方に、手話通訳者や要約筆記者を派遣するなどの支援を行います。

##### 日中一時支援事業

障害者（児）の方に日中の活動の場を提供するとともに、家族の就労支援、介護の負担軽減を図るため、一時的な見守りの支援を行います。

##### 日常生活用具給付事業

障害者（児）の方の日常生活を支援するために、ストーマ装具や杖などの日常生活用具を給付します。

##### 社会復帰施設運営事業

在宅の障害者の方の社会復帰を促進するため、通所による作業指導や生活訓練等の支援を行います。



栗原西中学校での手話体験教室の様子  
(コミュニケーション支援事業)

財源	国の負担額	2,406万円	県の負担額	1,203万円	市の負担額	8,465万円
----	-------	---------	-------	---------	-------	---------

### 3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

#### (1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります



##### いのちを守る総合対策事業

1億224万円

(担当：社会福祉課社会福祉係・健康推進課保健指導係)

自殺防止について広く市民に啓発し、自殺防止への関心を高めるため、自殺防止キャンペーンや自殺防止講演会を実施します。また、多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などの自殺防止対策にも取り組みます。

小中学生等を対象とした金融教育の普及啓発事業も継続して実施します。

#### (2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します



##### 介護福祉士就職支援金助成事業 80万円

(担当：介護福祉課介護保険係)

安定した介護サービスの提供、介護人材の確保と定着を図ることを目的に、介護福祉士の資格を取得し、市内の介護サービス事業所に新たに就職する方に対して、就職支援金を助成します。

助成金 40万円 (1人1回限り)

##### 介護人材確保・定着事業 220万円

(担当：介護福祉課介護保険係)

介護人材確保、介護職員の資質向上と介護サービスの安定供給に資することを目的に、市内の介護サービス事業所に従事している方が受講する介護職員初任者研修、または実務者研修の受講料を助成します。

初任者研修受講料 限度額10万円/件  
実務者研修受講料 限度額20万円/件

#### (3) 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります



##### 医学生・看護学生修学資金等貸付事業

3,280万円

(担当：医療管理課総務係)

栗原市立病院及び診療所に勤務する医師、看護師を確保するために、将来、栗原市立病院又は診療所に勤務しようとする医学生、看護学生に対し、修学に必要な資金の貸し付けを行います。

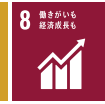
- 医学生修学一時金 (入学時一括貸付) 760万円
- 医学生修学資金 (令和4年度新設) 月10万円  
※入学月及び卒業月は20万円増額
- 看護学生修学資金 月5万円



学生募集用パンフレット

## 4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます



#### **新** 農地草刈り支援事業 215万円

(担当：農業政策課農政企画係)

市内に住所を有する75歳以上の農業者が、シルバー人材センターなど業者等に農地の草刈り作業を委託した場合、経費の一部を助成します。

- ・対象農地：田（自己保全管理1※を含む）  
※作付をしていなくても、草刈り等の維持管理が適切に行われ、直ちに営農再開できる農地
- ・補助率：経費の1/10以内

#### **新** 有害鳥獣減容化処理施設整備事業

150万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

有害鳥獣の捕獲後の処理について、埋設処理が大きな負担となることから、減容化処理施設の建設により、有害鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減を図ります。

令和4年度については、建設場所の選定と設計を行います。

#### **協** くりはらの担い手育成事業

1,588万円

(担当：農林畜産課農産園芸係)

##### 経営継承・発展等支援事業

地域農業の後継者の育成・確保のため、家族農業経営を始めとする地域農業の中心的農業経営体から農業経営を継承した農業後継者へ、新技術の取得やスマート農業機械導入等による農業経営の向上に必要な取り組みに対する経費の一部を支援します。

- ・対象経費：研修費、旅費、機械装置費など
- ・補助率：10/10
- ・補助上限：100万円

##### 家族農業経営等発展支援事業

家族農業経営等から経営を継承し、経営継承・発展等支援事業の対象者に対し、農業経営の向上に必要な取り組みに対する経費の一部を支援します。

- ・対象経費：経営継承・発展等支援事業に準じる
- ・補助率：1/2（事業費100万円を超えた経費分に限る。）
- ・補助上限：10万円

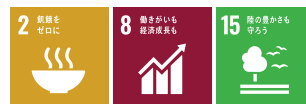
##### 新農業人及び中小規模・家族経営体等活躍支援事業

地域農業の維持・発展のため、家族農業経営を始めとする中小規模の農業経営体が、品目の転換や新技術導入等により経営を発展させる取り組みに必要な経費の一部を支援します。

- ・対象経費：農業用機械・施設等の導入・改修費
- ・補助率：2/3以内
- ・補助上限：400万円

## 4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます



#### **有害鳥獣対策事業** 2,524万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

鳥獣による農林水産業等被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲を行います。

また、被害防止のため、電気柵等の防護設備を設置された方に対し購入費用の助成を行います。

さらに、鳥獣被害対策実施隊員を確保するため、装備品の貸与や、狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する取得費用の助成を行います。

財源	県の負担額	2,933万円
	市の負担額	2,231万円

#### **栗原の美しい森林（もり）再生事業** 5,919万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

適切な管理が行われていなかった私有林（人工林）の森林管理を推進し、水源の保全、災害の防止、二酸化炭素の吸収など森林の持つ公益的機能の維持を図ります。

そのため、栗原の美しい森林の再生を目指して、私有林の所有者に対する意向調査を行い、市が仲介役となり、林業経営体等への施業の集約化を行い、森林環境譲与税を財源に間伐作業等を実施します。



森林管理に係る相談会の様子

#### **森林病虫害防除事業** 1,673万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

松くい虫被害木を適期に防除及び伐倒駆除することによって、被害の拡大を防止します。

また、近年栗原市内でナラ枯れ被害が急増し被害が拡大する恐れがあるため、適切な防除及び被害木の伐倒駆除等を行い、被害のまん延防止を図るために調査を行います。

#### **県営ほ場整備事業等負担金**

1億1,176万円

(担当：農村整備課計画調整係)

地域で描いた将来の営農構想を実現するため、担い手の育成を図るとともに、農地の集積を促進し、ほ場の大区画化、用排水施設、農道等の整備を行います。

#### **ほ場整備事業 13地区**

- 《若 柳》 伊豆沼2工区地区  
大目地区  
上畑岡地区
- 《若柳・志波姫》 沼田・八木地区
- 《栗駒・鶯沢》 稲屋敷・袋地区
- 《高清水》 東田地区
- 《瀬 峰》 迫第四地区  
藤田地区  
瀬峰地区  
藤沢地区
- 《金 成》 津久毛地区  
有壁地区
- 《志波姫》 上沼地区

財源	市の負担額	1億1,176万円
	(うち市債[借入金])	9,090万円)

## 4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます



#### くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

2,000万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛をみやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付します。

また、父牛が栗原産の宮城県基幹種雄牛の場合は、補助金を増額し市内保留確保を強化します。



宮城県基幹種雄牛「<sup>かつ</sup>勝 <sup>ひで</sup>秀 <sup>よし</sup>好 号」(栗原市金成産)

#### 地域農業を担う営農支援事業 150万円

(担当：農業政策課農政企画係)

水田農業用の機械を、共同(3戸以上)で購入し、利用する場合に助成します。

【対象となる機械】

トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機等で30万円以上の機械

【補助率】

購入経費の2/10以内(上限額50万円)

#### 6次産業推進事業

684万円

(担当：農業政策課6次産業・ブランド推進係)

6次産業化のきっかけを作る場として研修会(育成塾)を開催し、商品化に取り組みたい農林漁業者に専門家を派遣します。

また、次の事業を対象に、補助金を交付し、知識と資金の両面でサポートします。

- (1) ソフト事業 新商品等開発事業など
- (2) ハード事業 機械設備の整備など

#### 多面的機能支払交付金事業

4億676万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

農業・農村が有する国土の保全や水源のかん養、自然環境の保全や良好な景観の形成などの多面的機能を維持・発揮するため、農地等の保安全管理に係る、次の共同活動に対して交付金を交付します。

- (1) 農地維持支払交付金
  - 水路・農道の草刈り、泥上げ等の基礎的な保全活動
- (2) 資源向上支払交付金
  - 水路・農道などの軽微な補修、施設の長寿命化のための活動
  - 植栽による景観形成、生き物調査などの農村環境の保全活動
  - 田んぼダムの取り組み

財源	国・県の負担額	3億507万円
	市の負担額	1億169万円

## 4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」



### (2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

#### 新 中小企業等事業承継支援事業 180万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

事業主の高齢化や後継者不足に対する事業承継のための経費の一部を補助します。

##### 【制度概要】

- ・ 研修費や資格取得経費補助  
補助率 1/2 限度額 10万円
- ・ 販路拡大や生産性向上のための経費補助  
補助率 1/2 限度額 50万円

#### ビジネスチャレンジサポート事業

1,131万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内に店舗や事務所などを開業する方に対して改修費、設備費、店舗等賃借料などの一部を補助します。



補助金を活用して開業した事務所

#### 企業立地投資奨励金 企業立地促進奨励金

8億6,715万円

7,130万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

##### 【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて、それぞれ投資額の5%から20%までの範囲内で助成します。

##### 【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模に応じて、固定資産税相当額の2/3以上を3年間助成します。



残り2区画となった若柳金成インター工業団地

#### 移住・就業対策支援事業 200万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

東京23区の在住者または通勤者が市内に移住し、県が指定する企業等に就職または起業したときに、移住支援金を交付します。

##### 【制度概要】

移住支援金 世帯 限度額 100万円  
単身 限度額 60万円

財源	県の負担額	150万円
	市の負担額	50万円

#### 小規模事業者経営改善資金融資 (マル経融資) 利子補給補助事業 68万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

小規模事業者の経営の安定等のため、小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)を受けた小規模事業者に対し、1年目と2年目の利子額の一部を補助します。

##### 【制度概要】

利子補給補助率 0.37% (マル経融資に係る約定利率 1.22% から 0.85% を減じた率)

## 4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

### (3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します



#### 観光関連施設整備事業

6, 520万円

(担当：田園観光課観光交流係)

アドベンチャーツーリズム※の推進拠点として、栗駒地区にキャンプ場整備を進めるため、設計業務を実施します。

また、平成20年岩手・宮城内陸地震で被害を受け、休止していた栗駒高原オートキャンプ場を解体します。

※アドベンチャーツーリズムとは、アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行のこと。



令和4年度に解体するオートキャンプ場

#### くりはら交流プラザ空調設備等改修事業

6, 900万円

(担当：市民協働課地域振興係)

開業から20年以上が経過している当該施設は、空調設備の一部が経年劣化により故障し、部品の供給終了により修繕ができない状況にあります。

また、震災等を受け、部分改修等を行ってきていることから、修繕工事に際し必要出力量を再精査し、適正な能力の空調機器を導入し快適で効率的な運営を図るとともに、使用電力等の見直しにより維持管理経費の抑制を図ります。

#### 観光情報総合発信事業

583万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)



令和3年度に実施したJR中吊り広告

## 4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

### (3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します



#### 栗駒山登山道整備・渋滞対策事業

1, 909万円

(担当：田園観光課観光交流係)

栗駒山エリアでの観光誘客のため、登山道の整備や、紅葉時期の環境負荷軽減と観光客の利便性向上を目指したシャトルバスの運行などを実施し、交流人口の増加につなげます。



安全な登山道整備に向けた調査登山の様子

#### くりはら田園鉄道公園運営事業

3, 938万円

(担当：企画課企画政策係)

くりはら田園鉄道公園は、令和3年4月から指定管理者による管理運営に移行し、民間のノウハウを生かしながら、くりでんの魅力を市内外に広く発信しています。

引き続き「くりでんミュージアム」では、旧くりはら田園鉄道の資産や沿線ジオラマ、実際に使用していた工作機械等を展示しているほか、旧若柳駅では、KD95などの気動車やレールバイクを活用した乗車会を定期的で開催します。



くりでんミュージアム入館者5万人達成

財源	寄附金（クラウドファンディング）	322万円
	売店品販売額	17万円
	市の負担額	3,599万円

#### 栗駒山麓ジオパーク推進事業

5, 042万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)



モニタリングシステムによる壁面観測の様子

栗駒山麓ジオパークビジターセンターを拠点施設とし、来館者がジオを学び、楽しめる展示の充実を図ります。また中心的なサイトである荒砥沢地すべりのモニタリングなどを行い、安全管理を徹底しながら保全活動を進めます。

栗原の貴重な地質資源などを、子ども達へのジオパーク学習や、ガイド養成、ジオを体感できるプログラムなどに広く活用しながら、栗駒山麓ジオパーク活動を推進します。